

-地域おこし協力隊 活動報告-

秘書広報課 廣岡 祐次

2022.3.17

◆2003年 株式会社ナムコ 新卒入社

新入社員時から4年間、熊本県熊本市に居住。2年間は店長としてアミューズメント施設の運営をする傍ら、地方の状況・実態についても理解を深める。

◆2008年 バンダイビジュアル株式会社

(現 株式会社バンダイナムコアーツ) 入社

ナムコ入社3年目に、バンダイとナムコが経営統合を果たした事をきっかけとし、入社5年目に人材交流の一環としてバンダイビジュアルに入社。主に作品の広報・宣伝を担当。

◆2012年～ アニメ「ガールズ&パンツァー」の宣伝プロデューサーを担当

2012年からTV放送を開始した『ガールズ&パンツァー』の宣伝プロデューサーとして、立ち上げ時から関わる。サラリーマンとして普段接する事がないような“現地でがんばる多くの人”に接する事で、人生を見つめ直すきっかけとなる。そして、多くのガルパンファン同様、ガルパンをきっかけとして、作品の舞台・大洗町が好きになりすぎる。

◆2015年 イベント「AnimeJapan」総合プロデューサーを担当

東京ビッグサイトで毎年開催される、国内最大級のアニメイベント「AnimeJapan」の総合プロデューサーを務める。この年の総来場者数は、2日間で約12万人。

◆2019年 株式会社ハイド&ルーク 設立

大洗町が好きになりすぎた結果、大洗町に会社を設立。コワーキングスペースを拠点としながら、町の特産品などを扱うネット通販サイト「ARISE GIFT」を運営している。

◆2021年 地域おこし協力隊に入隊

前職で培った知見を活かし、業務委託型の地域おこし協力隊として、秘書広報課に配属。町の「広報・宣伝」業務の仕組み作りに取り組む。



廣岡祐次

株式会社ハイド&ルーク 代表取締役

1980年11月21日生まれ

私の役割について

☑役場の情報発信に関する交通整理

☑誰が来ても広報PRができるような仕組み作り

☑町の広報戦略の策定



今期の活動について ②ニュースリリース作成の啓蒙活動

広報PRの仕事

メディアや消費者との接点を創出し、戦略的に情報を開発していくこと

全ては**1枚のニュースリリース**から！

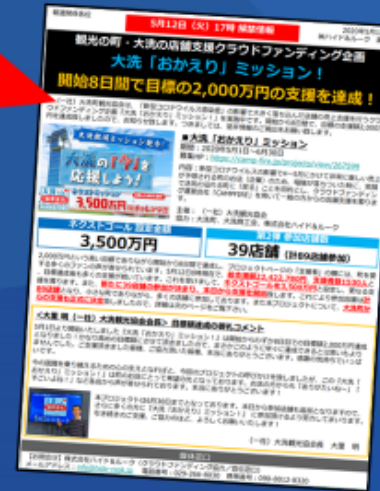
【ニュースリリースとは】

メディアに対して出し手が何らかの情報を伝えるためにまとめた公式発表

メディアに向けた「ラブレター」である

どんなに優れたコンテンツの開発が出来ても、
情報の開発が出来なければ、効果は望めない。

「口コミ」頼みの広報PRから脱却したい！！



★職員向けに「ニュースリリース講習」を2回実施【2回計：48名参加】

⇒今後テンプレートに沿って運営するが、「まずは出す事」の意義と動機付けを行った。

★4月よりニュースリリースの発出を秘書広報課に一本化するにあたり、テンプレートを作成&ルールの策定を実施。

★「ただ出せばよい」から脱却した上で、「出さないと掲載確率0%。出したうえで確度を上げる」仕組みを作る。

★「ニュースリリース」「取材案内（依頼）」など、複数のテンプレートを作成。

今期の活動について ③メディアリストの作成

カテゴリ	項目	メディア	記者名	電話番号	メールアドレス	URL/備考	カテゴリ
新聞	地方版	日経新聞（北関東）				com (廣岡) ガールズ&パンツァーに興味強め	
		茨城新聞				co.jp (平間) プライベートでお酒を飲む友達です	
		朝日新聞（茨城版）				大洗担当	
		読売新聞（茨城版）				(平間) インタビューが丁寧、掲載記事の確認や送付等の丁寧な対応をする方	
		毎日新聞（茨城版）					
		産経新聞（茨城版）					(平間) レスは遅いが、記事掲載には前向きな方
		東京新聞（北関東版）					
	産業経済紙	日経MJ					
		日経産業新聞					
		日刊工業新聞					
		日本工業経済新聞 水戸支局					
		日本流通産業新聞					
	専門紙	建設未来通信					
		高齢者住宅新聞 など					
全国紙全国版	日経新聞						
	朝日新聞						
	読売新聞						
	毎日新聞					東京本社 編集編成局	
	産経新聞						
ラジオ	地方局	Lucky FM（旧 茨城放送）				(平間) CONNECTというトレンド情報を発信する番組のディレクター	
		FMぼるるん				(平間) インタビューや取材が丁寧な方	
		FMかしま				(平間) Happyいばらきの担当の方、FAX:0299-84-7780	

1年間、観光協会・商工観光課・うみまちテラス・秘書広報課の担当を集めて、月に1回観光の情報掲出に関する部会を実施。そのメンバーと秘書広報課で管理・共有する「**メディアリスト**」を作成。Googleスプレッドシートにて、誰でも更新出来る形で運用。新聞・ラジオ・タウン誌、webメディアなどをリスト化し、重要度の高さや、情報の親和性などを考慮し、今後プレスリリースを送付する仕組みを作っていく。

- ★「**新聞紙の地方欄+茨城新聞**」を最重要メディアとして、まずは関係づくりから行っていく。
- ★整理する中で、意外とラジオやタウン誌が軽視されている事が分かり、今後積極的にアプローチを行う。
- ★観光系のweb情報メディアを、運用していく中で優先順位を決めていき、今後の広告に活かしたい。
- ★今後、掲載された数や質などでスコア化し、KPIを設定していく形を整えたい。

来季の活動について

町の「広報戦略」の策定

ご清聴ありがとうございました